

COVID-19に伴う¹ 社会的スティグマ防止および対処ガイド



このガイドでは、伝染病の集団発生(アウトブレイク)時に一部の人が経験する社会的スティグマを減らすための行動を提案しています。

対象読者: COVID-19に取り組む政府関係機関、メディア、および地域組織。



社会的スティグマによりCOVID-19対応の有効性が低下

COVID-19などの病気に関連する社会的スティグマを減らすと、その対応の有効性が向上します。保健衛生分野における社会的スティグマとは、特定の属性に共通点のある人や特定の疾病に罹患している人に対する否定的な連想を指します。集団発生時に、その病気とのつながりがあると見なされた人が差別を受け、周囲からの隔離や社会的地位の喪失を経験することがあります。



社会的スティグマは、患者、その介護者、家族、友人、地域社会に影響を及ぼすことがあります。罹患していなくても、このグループと何らかの共通点がある人も社会的スティグマにさらされる可能性があります。

COVID-19の集団発生により、社会的スティグマと差別的な行為が起きています。特定の人種的背景を有する人やウイルスと接触したと見なされる人が最も

影響を受けています。

知識の欠如が社会的スティグマにつながる

COVID-19に伴う社会的スティグマは、主に3つの要素に基づいています。

- 1) 分からないことが多い新種の病気である
- 2) 人々はとかく、未知の物事に恐怖心を抱く
- 3) その恐怖心と「他人」を結び付けやすい

混乱、不安、恐怖が社会に広がることは当然のことながら、それらは社会的スティグマをあおる原因にもなります。

社会的スティグマは不健全な振る舞いに拍車をかける

スティグマは、社会的結束を徐々にむしばみ、特定のグループや個人が不当に取り残されることがあります。これにより、ウイルスが広がりやすくなり、より深刻な健康上の問題や伝染病の集団発生を抑制することが難しくなります。

¹このチェックリストには、ジョンズ・ホプキンス・センターのコミュニケーションプログラム、READY Networkによる推奨事項が含まれています。

スティグマにより起こり得る行為とは：

- 差別を避けるために病気を隠す
- 病院での治療を直ぐに受けない
- 健康的な行動をとらない

社会的スティグマへの対処法

伝染病にまつわる社会的スティグマにより、対応の有効性が低下します。これに対抗するには、医療サービスおよびアドバイスに対する社会の信頼を築かなければなりません。社会が病気を理解し、効果的で実践的な対策を採用、それを管理し、影響を受けている人々を思いやることができるようにしなければなりません。

COVID-19について、どのように伝えるかが重要となります。病気やその影響について、率直に、正直に、効果的に話し合い、対処できる環境を作り、病気と戦うための効果的な行動に協力することで、恐怖心やそこから生じる社会的スティグマが減ります。

本書で示している、社会的スティグマを減らすための推奨活動について：

1. 表現の仕方：COVID-19について伝える際の心得
2. 役目を果たす：スティグマについて対処し、防止するための分かりやすいアイデア
3. コミュニケーションのヒントとメッセージ

1. 表現の仕方：COVID-19について伝える際の心得

特定の表現が社会的スティグマに油を注ぐことがあります。例えば、「疑似患者」や「隔離」といった表現が挙げられます。このような表現は、既存の否定的なステレオタイプ化をあおぐ、病気と他の要素との関係について誤解を深める、恐怖心を抱かせる、患者を非人間的に扱うといった行為を招きます。

そのため、スクリーニングや検査を受けることや自宅待機することをためらうようになります。メディアをはじめとする、あらゆるコミュニケーションにおいて、相手を尊重し、励ませよう「人々のことを第一に考える (people-first)」の表現の仕方によること推奨します。とりわけ、メディアで用いる表現は、COVID-19について頻出する用語やコミュニケーションを形成することになるため重要となります。否定的な報道は、COVID-19に感染した可能性がある人や罹患した人、その家族、および影響を受けたコミュニティに対する社会の見方や接し方に影響を与えるおそれがあります。

HIV、結核、H1N1インフルエンザなどの流行 (エピデミック) や世界的流行 (パンデミック) の抑制に寄与する包括的な表現の仕方やスティグマ化を防止する表現の仕方は数多くあります。²

心得 (奨励・注意事項)

COVID-19について話す際の表現の仕方に関する心得：

奨励 - 新型コロナウイルス (COVID-19)。

² [UNAIDS用語ガイドライン](#)：「エイズの犠牲者」から「HIVとともに生きる人々」へ、「エイズとの戦い」から「エイズへの対応」へ。

注意 - 病気に地名や民族を付けない。「武漢ウイルス」、「中国ウイルス」、「アジアウイルス」と呼ばない。

この伝染病の公式名は、スティグマ化を避けることを考慮して決定された。COVID-19の「co」はコロナ(Corona)、「vi」はウイルス(virus)、「d」は病気(disease)を表し、「19」は、この伝染病が出現した2019年を示す。

奨励 - 「COVID-19に罹患している人」、「COVID-19の治療を受けている人」、「COVID-19から回復した人」、または「COVID-19にかかって死亡した人」。

注意 - 「COVID-19感染者」または「犠牲者」という表現。

奨励 - 「COVID-19にかかった可能性のある人」または「COVID-19にかかっていると推定(診断)されている人」。

注意 - 「COVID-19疑似患者」または「疑似症例」という表現。

奨励 - COVID-19に「かかっている人」または「感染している人」。

注意 - 「COVID-19を伝染させる人」、「他の人に移す(感染させる)人」、または「ウイルスを拡散する人」は、故意による伝染を示唆し、責任を転嫁する表現になる。犯罪者化または非人間化する表現は、病人が過ちを犯したかのような、または人間性に欠けるかのような印象を生む。これはスティグマ化を促し、思いやりを損なうこととなり、場合によっては、病院で治療、クリーニング、または検査を受けることや自宅待機することをためらうこととなる。

奨励 - COVID-19のリスクについて、科学的データや保健衛生に関する最新の公式通知に基づく正確な情報。

注意 - 「ペスト」や「世の終末」といった恐怖心を抱かせることをもくろむ大げさな表現。

注意 - 根拠のないうわさを繰り返したり、拡散したりしない。

奨励 - 前向きに話し、予防と治療措置の有効性を強調する。ほとんどの人にとって、回復できる病気であって、自分自身、家族や友人、そして最も影響を受けやすい人々の安全を守るために誰にでもできる対策がある。誰もが最も影響を受けやすい人々の安全を守るために協力する必要がある。

注意 - 否定的なことや脅しのようなメッセージを強調したり、力説したりしない。

推奨 - COVID-19にかからないための予防措置を取り、早期にスクリーニング、検査、治療を受けることの有効性を強調する。

2. 役目を果たす:スティグマについて対処し、防止するための分かりやすいアイデア

政府、市民、メディア、インフルエンサー、コミュニティは、社会的スティグマの防止と阻止に重要な役割を担っています。ソーシャルメディアやその他のコミュニケーションプラットフォームでCOVID-19の情報を発信する際に、協力的な行動を示す必要があります。社会的スティグマに対抗するためにできることやヒントには、次のようなことが考えられます。

- **事実を広める**: COVID-19に関する知識不足は、社会的スティグマを強める。影響を受ける地域、COVID-19への感染リスクの高い個人と集団、治療の選択肢、医療や医療情報にアクセスできる場所について、その国やコミュニティ特有の正確な情報を収集し、整理し、発信する。分かりやすい表現を使用し、医学的な専門用語は避ける。ソーシャルメディアは、比較的成本をかけずとも、保健衛生情報を多くの人々に提供しやすいアウトレットとなる。³
- **ソーシャルインフルエンサー**⁴: 社会的スティグマにさらされている人のことを考え、支援し、社会的スティグマを減らす方法について、コミュニティを刺激できるよう、宗教指導者やその他のコミュニティリーダーに協力を呼びかける。高く評価されている著名人を起用し、ターゲットを絞って、メッセージを拡散する。この情報を伝える著名人は、それについて個人的に関心を持ち、その視聴者との地理的かつ文化的なつながりのある人物であること。例えば、市長(またはその地の主要情報発信者)がソーシャルメディアのライブ配信で、社会的スティグマにさらされているコミュニティの代表者と握手を交わすといったことが考えられる。
- **声を広める**: COVID-19を経験した身近な人々の話や画像を添えて紹介し、患者が必ず回復することを証明する。ほとんどの人がCOVID-19から回復するということを強調する。
- **「ヒーロー」キャンペーン**: 社会的スティグマにさらされている可能性のある介護者や医療関係者に感謝する機会を設ける。コミュニティのボランティアもまた、コミュニティにおけるスティグマを減らすことにおいて大きな役割を果たす。
- **多様な民族グループの紹介**: これに活用する素材はどれも、さまざまなコミュニティが影響を受けながらも、COVID-19の感染拡大を防止するために協力し合う様子を示すものであること。書体、シンボル、フォーマットは中立的なものとし、特定のグループを示唆しないこと。
 - **倫理的なジャーナリズムの推進**: 基本的な感染予防の実践方法、新型コロナウイルス(COVID-19)の症状、および受診時期に関する内容を伝える。場合によっては、一人一人の行動や患者の責任に注目することで、この病気にかかっている可能性のある人に対するスティグマを強めるおそれがある。例えば、一部のメディアでは、新型コロナウイルス(COVID-19)の発生源に注目し、各国の「患者第1号」を特定しようとしている。ワクチンと治療法を見つける取り組みにスポットライトを当てることは、かえって、恐怖心をあおり、感染抑止に対して非力な印象を与えるおそれがある。
- **リンクアップ**: 社会的スティグマ化とステレオタイプ化に対処するための取り組みがいくつかある。これらの活動に参加し、万人へのいたわりと思いやりを示す行動と前向きな環境を作る。

³ ナイジェリアでは、西アフリカのその他3か国に影響を与えた2014年のエボラ出血熱発生の封じ込めに成功しました。これには、ターゲット型のソーシャルメディアキャンペーンを部分的に活用し、正確な情報を拡散し、TwitterおよびFacebookに流れていた嘘のメッセージを修正することにより実現しました。この処置は、国際的な非政府組織(NGO)、ソーシャルメディアのインフルエンサー、有名人、ブロガーが幅広いプラットフォームを使用して、共通の保健衛生コミュニケーションに関する情報と意見を転送し、共有したため、特に効果を上げました。出典: Fayoyin, A. 2016. Engaging social media for health communication in Africa: Approaches, results and lessons. *Journal of Mass Communication and Journalism*, 6(315).

⁴ 「アンジェリーナ・ジョリー効果」という用語は、女優のアンジェリーナ・ジョリーが予防のために両乳房切除手術を受けた2013年から数年間、乳がんの遺伝学とその検査に関するインターネット検索が増加したことを説明するために公衆衛生コミュニケーション研究者が考えた造語です。その「効果」は、信頼できる情報源から、有名人が支持することは、健康に関する知識を求める一般人と、新型コロナウイルス(Covid-19)の医療サービスに対する一般人の姿勢と理解に影響を与えるという点で効果的であることを示唆しています。

3. コミュニケーションのヒントとメッセージ

現在のCOVID-19の集団発生よりも急速に、誤報と流言による「インフォデミック(誤情報の拡散)」が広まっています。これは、集団発生による影響を受けた地域の人々に対する社会的スティグマや差別などのマイナスの影響に寄与しています。この新たな集団発生の影響を受けたコミュニティや人々を支えるには、一致団結と、明確で実用的な情報が不可欠です。

誤解、流言、誤報は、対応の有効性を低下させる社会的スティグマや差別に寄与する。

- **誤解に対処する。**ただし、たとえ憶測が根本的に虚偽であったとしても、人々の感情やそれに基づく行動が現実であることは認識する必要がある。
- **予防の重要性を強調する。**それと同時に、人命救助行動、早期のスクリーニングおよび治療も重要である。

一致団結と世界的な協力により、さらなる伝播を防ぎ、コミュニティの懸念を和らげる。

- **思いやりのある話を共有する。**COVID-19の影響を受けた人やグループの経験や苦闘を暖かみのある出来事として共有する。
- **応援する。**医療関係者、ボランティア、コミュニティリーダーなど、この集団発生対応の最前線にいる人々に感謝の意を表す。

恐怖心ではなく、事実が新型コロナウイルス(COVID-19)の拡大を食い止める。

- 病気に関する事実と正確な情報を共有する。
- **作り話** やステレオタイプ化に対処する。
- 言葉を慎重に選ぶ。情報の伝え方によっては、周囲の態度にマイナスの影響を与える(前出の「心得(奨励・注意事項)」参照)。